

2010年4月入職

や な が わ ゆ き
柳 川 有 希

誰かに尽くすことは、私のアイデンティティ

祖父の存在は今でも大きい

3歳のとき、大好きだった祖父をがんで亡くし、とても悲しい思いをしました。いまではおぼろげになりつつある祖父の印象ですが、本当にすごくいいおじいちゃんだったということはしっかりと記憶に刻まれています。とにかく相手に尽くすタイプで、祖父母を見ていたからでしょうか、その頃から「誰かのために尽くしたい」という気持ちが芽生えていました。だから、医療の現場に携わりたいと思ったのは必然だったと思います。「自分よりも相手」という思いを持つことは、私の中ではごく自然のことで、そういったところは祖父ゆずりなのかもしれません。そこから、人の為にできる仕事はなんだろうという観点で探した時にCEという職業にめぐり会えたのです。CEになったとき、祖父にもちゃんと報告しました。今でも何かある度に、必ずお墓に足を運んでいます。一緒に過ごした時間は短いのですが、私の人生にとっても大きな影響を与えてくれた人なんだと、改めて思っています。

仲間への感謝の気持ちを忘れない



もともとじっとしてられない性格で、働くことが人一倍好きなんです。与えられた業務をこなすだけでなく、常に目先のことに気を配りながら、周りの人たちの負担を減らそうと心がけています。そんなふうにチームを支える気持ちをもって仕事に取り組んでいますが、自分が忙しいときには逆にサポートしていただくこともたくさんあります。一人で頑張っていても実は自分の知らないところで意外なほど多くの人たちに助けられているものです。支えてくれるスタッフのみなさん、患者さまが

いるからこそ私は日々頑張ることができるのです。

いつ、どんな時も、まずは自分が積極的に行動し、全ての人のために最高の手助けをすることを考えています。チームとして一緒に働く仲間であるからこそ、人と人との繋がりを大切に、そして感謝の気持ちを忘れずにいたいです。



笑顔、優しさ、思いやりを胸に

全ての人のために

心の満足を追求しつづけます

柳川有希